



寿都町 病児保育室 なないろだより

NO.20 令和5年11月発行

昼夜の寒暖の差もだんだんと大きくなり、少しずつ冬の訪れを感じる頃となりました。気温が下がって空気が乾燥する11月は、インフルエンザや感染症が流行りやすくなります。しっかり睡眠をとることで、免疫力も上がります。ご家庭でも丁寧な手洗い・うがいをし、規則正しい生活を心がけるようにしましょう。また、加湿と換気をしながら体調管理には十分気を付けていきましょう。

☆◇✿✿✿◇✿✿✿◇✿✿✿◇

10月の利用状況

かぜ 14名
中耳炎 1名

子どもへの声かけ

子どもとの絆を強くし、子どもの心や社会性を育てていくためには、乳児期からの大人の言葉かけが大きな役割を果たします。

0歳～ 行動の前には必ず声をかける

急いでいる時も無言は禁物。「○○ちゃん、おむつ替えようね」など、名前を呼んで次にする行動を説明しましょう。

1～2歳 気持ちに共感する

「うれしいね」「悲しいね」など子どもの思いを言葉にしていく事を繰り返す中で、子どもは大人への信頼感を深め、また言葉を覚えていきます。

2～3歳 プラスの言葉

「上がってはダメ」ではなく「下りようね」と、肯定的な言葉をかけましょう。「ダメ」と言われ続けると、主体的な行動ができなくなってしまいます。



2～3歳 子どもに考えさせて

「こういう時はどうするんだっけ?」「どうすればいいと思う?」など、子どもに考えさせるような言葉も効果的です。



大人の言葉をかなり理解できるようになる3歳以降の子どもたちには、大人の意図をきちんと伝えながら、子どもの自発性を伸ばす言葉をかけていきましょう。

気持ちを代弁する

けんかで感情が高ぶって泣いている時は、「こうしたかったんだよね」など、その気持ちに寄り添い代弁してあげます。

期待を膨らませる

出かける前にトイレ等の用事を済ませてほしい時は、次の行動を楽しく説明し「そのためには…」と今やってほしい事を伝えます。

提案する

「こうしなさい」「やめなさい」ではなく「こうしたらどう?」「こうしてみようか」「こういう方法もあるよ」と提案します。

子どもを褒める

「○○してくれてありがとう」「○○ができてすごいね」とその場で具体的に褒めたり、感謝の言葉を伝えたりします。

具体的に話す

「○○しなきゃダメ」ではなく「○○だからこうしてね」とその理由を説明。「早くして」ではなく「いつまでに」を伝えます。

保育の様子

想像力豊かに楽しんで遊んでいました♪



ジェンガは楽しいね!



メルちゃんのお世話をしています♥



顔を覗き合う可愛い二人でしたよ♪



病児保育室なないろでは毎月おたよりを発行しています。寿都診療所 HP で最新と過去のおたよりがご覧になれます。こちらからどうぞ→



おねがい

寿都診療所以外から処方されたお薬をご自宅で内服又は使用している場合は、必ずお薬手帳か薬情をお持ち下さい。下痢や発疹等の体調不良の原因がお薬の影響の場合もあるため、確認させていただいています。また、なないろでのお薬の投薬をご希望される方は、必ず保育士に手渡ししてください。ご協力よろしくお願ひします。